

目的 油種の比較を行います。他油種の混入確認にも活用できる方法です。

対象 潤滑油

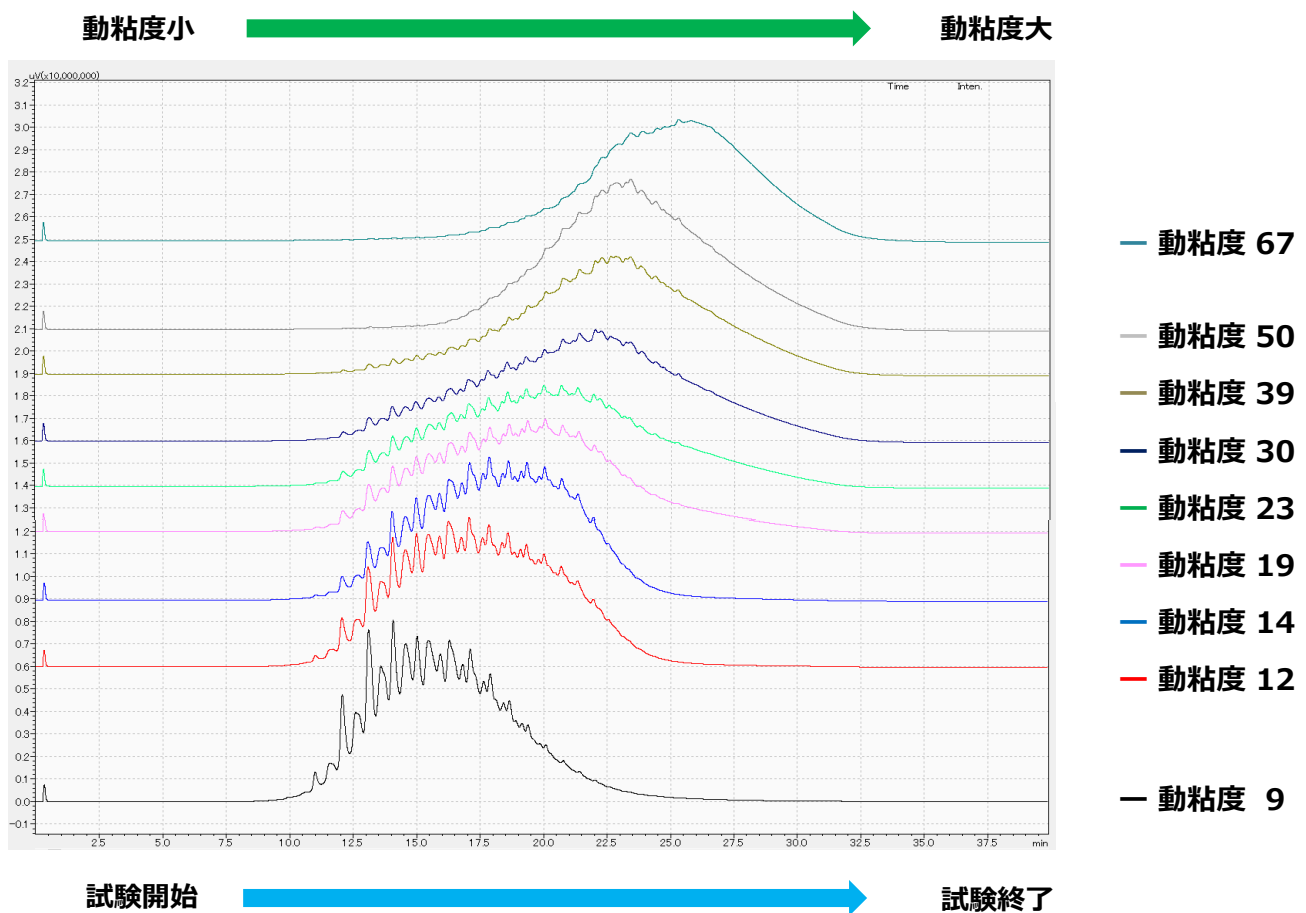
分析項目 ガスクロマトグラフィー(GC)

試験結果 流動パラフィンの番手の違いによる差を、GCを用いて検証しました。

*増粘剤等は無添加



GC試験装置



【判明事項】

- ① 一般的に粘度の低い流動パラフィン、リテンションタイムは短く（沸点が低く）なります。
- ② 一般的に粘度の高い流動パラフィン、リテンションタイムは長く（沸点が高く）なります。
- ③ 粘度の低い流動パラフィンに見られる数多くのピークは、主に直鎖飽和炭化水素となります。
- ④ 粘度が高くなるにつれて成分が複雑となり、小さなピークが目立ちにくくなります。

